

那覇市立教育研究所

研究所だより



那覇市金城3-5-3
所長 田中 浩三

「第97期教育研究員」修了へ向けて



教育研究員の研修を振り返る
所長 田中 浩三

四名の長期教育研究員が今月を持って研修を修了いたします。研究員にとって六ヶ月間の研修生活はまさに試験の連続であり、学びの連続であったように思います。そこで、研究員の日記をもとにこれまでの研修を振り返りながら当研究所の各種研修を紹介いたします。

当研究所の研究員研修は、講師（所内・所外）による研修講座（二十一回）と、所長・指導主事合同による検討会（七回）が位置付けられています。

まず、では、「オリエンテーション」や「研究の進め方」、「コンピュータ操作」等の研修が行われています。

今日の研修は、「研究の進め方」で上江洲指導主事より理論研究の進め方やまとめ方、検証授業への取り組み方について学びました。これから研究をどのように進めていくのか悩んでいるところだったので、学んだことを生かして理論研究等を深めていきたいです。[島村]

「ホームページ更新」の講座がありました。またひとつパソコンの操作技術を習得することができました。コンピュータ主任をしたことがない私ですが、「機会があれば挑戦してみたい」と思うほど自信の付く内容でした。

勝連

次に、では、これまで「テーマ検討会」「項立て検討会」「中間検討会」「検証授業」「原稿検討会」等の研修を進めてきました。

今日は中間検討会を行った。項立てから研究内容までの質疑になったが、所長・指導主事の先生方に指摘され、自分が考えていたことが全然違っていたり、逆にわかった部分もあったりして、とてもよかったです。改めてまだ研究が浅いと痛感した。[大城]

これまで五回の検討会で先生方より助言を頂き、手直しを重ねることに自分なりにどうにか形になってきたと感じています。ですが、これから不特定多数の方が私の論文をみることを考えると最後の最後まで頑張らねばいけなとと考えています。「念には念を！」[勝連]

以上、計画的な研修での研究員の様子を紹介しましたが、他にも研究員は指導主事と日常的に細かい部分を相談しながら研究を進めたり、研究員同士で話し合い学び合いながら研究を進めています。

今日の午後、幼稚園指導主事の国仲先生からご指導を頂きました。研究の見直しを持ち、「検証」を考えながら深めていける研究テーマであるか、ご指導を頂きました。「言葉で伝え合う」という研究の視点を検討し絞り込むことができた気がします。[屋嘉部]

この原稿が仕上がるまで、所長はじめ指導主事の先生方にはたくさんご指導いただきました。担当の晋先生にはテーマ設定理由から何度も（八十回以上）私の原稿を見ていただきました。私の財産です。[島村]

このように多くの研修に触れることによって、幅広い教養や指導技術を身につけ教師としての専門性を高めてきたものと思います。今後はこれらを基盤に実践の場で大いに活躍されることを期待しています。

情報教育担当からのお知らせ

インストラクター派遣事業

平成24年度も、これまで通りインストラクター派遣事業を予定しています。学校における教育の情報化推進のためにインストラクターを派遣し、児童生徒の情報活用能力及び教師の指導力向上に寄与することを目的としています。

これまでの活用例

教職員向け.....HP 作成や更新、Excel・PowerPoint 操作、SKYMENU 基本操作他
児童生徒向け...Net モラル、PowerPoint、ジャストシステム

NARAE ネット（市教委と琉球大学教育学部との連携・協力事業）

平成18年度より始まった学校支援のための協働事業です。琉球大学の先生方を学校にお招きして教材研究・授業づくり・指導法等と一緒に研究することができます。平成24年度は、琉球大学が作成したリーフレットを各学校に2部ずつ配布します。

両事業とも、4月に公文やデスクネットを通してお知らせし、申込を募りますので積極的にご活用ください。

万座毛ではクサトベラなど海岸生の低木群落やイソノギクなど万座毛特有の植物などを見学しました。午後は沖縄の様々な植物や古生層の石灰岩などを観察しながら嘉津宇岳に登りました。



案内役は元校長で樹木医でもいらっしゃる上里進先生です。



（島村）今までは、単に知識として南部は島尻マージ、ヤンバルは琉球石灰岩というふうに覚えていましたが、歴史の流れで見てみたり、その地層の特徴などと関連づけて見ていくととても分かりやすかったです。

第97期 研究員 原稿検討会

2月15、16、22日に三日間にわたり「原稿検討会」が行われました。



（屋嘉部）この研究を通して学んだことが読み手にも伝わるような論文になるようまとめていきたいと思っています。

（大城）前期の方を参考にしたり、研究員同士で見せ合ったり、発表会を迎えられるようにしたいと思っています。

（島村）結果と考察のところでは、どういった相互交流をさせたのかという中身が大事なので、取り組んだことをきちんと文章に書き表すことを教えていただきました。

（勝連）検討会以外の場でも多くの助言を頂き、手直しを重ねるごとにどうにか形になってきていると感じています。

3月14日（水）に「所外研修」（自然観察会）が行われました。

午前中は恩納村にある「沖縄科学技術大学院大学」（OIST）に行きました。環境や設備の素晴らしさに、全員感動していました。



最新設備の講義室

豊かな自然環境に配慮した施設づくり

近未来的なエントランス

